



市川市立大洲小学校
学校だより
11月号

発行責任者 校長 田中 敏則



よくまなび よくあそび
～人生を拓く力の育成～
まなび いっぱい
やさしさ いっぱい
げんき いっぱい

おもいやり算

10月は、稻刈り、脱穀、芋ほり、リースづくりなどの体験学習、社会科見学やグリーンスクールなどの校外学習、修学旅行がありました。そして、11月は校内音楽会が開催されます。各学年とも練習に力が入ってきて、歌声や楽器の音がよく聞こえてきます。忙しい日々が続いますが、行事を重ねるごとに、学年やクラスがまとまっている様子を感じます。協力しあう場面が増え、友だち同士が仲良く活動していることはとてもうれしいことです。

しかし、一方で、近くなりすぎるためかケンカやもめごとがあることも事実です。もちろん、頻繁に起きているということではないのですが、担任や学年の職員はケンカやもめごとがあったら、まず、子どもたちから言い分を聞き状況を把握します。言い分をしっかりと聞いてあげることで、相手に対する反省の気持ちも湧いてくるものです。次に、冷静な視点でアドバイスをしながら、子どもと一緒に反省すべき点、改善すべき点を考えます。そして、お互いに、悪かったことを謝り、今後はどのようにしていくかを確認し合います。

お互いの主張がぶつかるので、嫌な思いもするかもしれません。しかし、自分の思いとは違う相手の思いを知り、我慢したり、折り合いをつけたりしながら、子どもたちは成長していきます。ケンカやもめごとは「謝り方」と「仲直り」を学ぶチャンスでもあるのです。

さて、人を笑顔にする“おもいやり算”を知っていますか。

- + 「たす」 助けあうと、大きな力になります。
- 「ひく」 引き受けると、喜びが生まれます。
- × 「かける」 声を掛けると、一つになります。
- ÷ 「わる」 いたわると、笑顔が返ってきます。



これを“おもいやり算”と言います。助け合い、力を合わせ協力することで、大きな力が発揮されます。困っている人のちょっとした仕事を引き受けてあげることで、相手は喜び、自分もうれしくなります。あたたかい言葉をかけることで、心も温かくなります。相手をいたわることで、心が和み、笑顔が返ってきます。“おもいやり算”は、相手はもちろん、自分自身も幸せになることができるのです。

また、うれしいことに、プラスの投げかけをする“おもいやり算”的結果は、マイナスにはなりません。答えは必ずプラスになります。だから、笑顔が生まれます。



四則計算は小学校の算数の授業で学びますが、“おもいやり算”は学校生活や家庭など日常生活全体の中で、くり返しきり返し使い、学んでいくべきものです。友だち同士の間だけでなく、先生と子どもたちの間でも、家族で過ごす時間の中でも、“おもいやり算”を使うことを心がけたいものです。

優しさいっぱいの“おもいやり算”で、子ども同士がつながり、子どもと先生がつながる、笑顔あふれる大洲小学校をめざしてまいります。

令和6年度 学校経営の方針（案）について

12月に学校関係者評価（保護者アンケート）を行います。「学校経営方針」（案）の概要についてご意見をいただき、「令和6年度 学校経営方針」を策定させていただきます。

＜目指す児童像＞

- まなびいっぱいの子ども (確かな学力)
- やさしさいっぱいの子ども (豊かな心)
- げんきいっぱいの子ども (健やかな体)



子どもたちは皆、学びたい、人にやさしくしたい、元気でありたい、という気持ちをもっています。学校生活の中で、自尊感情を育み、子どもたち一人一人の自己実現を図ります。

＜目指す教師像＞

- 心身ともに健康で、信頼と期待に応える教師
- 子どもに寄り添い、共感することができる豊かな人間味のある教師
- 研修に励み、確かな指導力のある教師
- 組織の一員として協働体制に努め、使命感・責任感のある教師



子どもにとって、最大の教育環境は教師自身です。子どもの無限の可能性を信じ、励まし続け、子どもの「やる気」を引き出します。一人一人の創意と工夫、能力を生かし、教職員の自己実現を図ります。

＜地域とともにある学校づくり＞

- 保護者や地域の方に信頼される、地域とともにある学校
- 地域学校協働本部との連携
- 児童の安全・安心を地域で見守る体制の構築



地域学校協働本部と連携し、学校ボランティアや地域の人材の活用を図ります。また、積極的に学校情報を発信（各種たより、ホームページ、メール配信等）し、相互理解と信頼関係の醸成を図ります。



陸上部 大健闘！

10月13日、国府台スポーツセンター陸上競技場で、「陸上競技大会」が開催されました。大洲小からも、100m走、走り幅跳び、走り高跳びの各種目に20名が出場しました。

短い練習期間でしたが、子どもたちは集中して練習に取り組んできました。本番では、練習の成果を100%発揮し、5年生の女子が100m走で市内3位に輝きました。6年生の女子走り高跳びでは、出場した2人ともに市内4位に入賞することができました。また、入賞はかんないませんでしたが、選手の多くが自己ベストを更新するなど、達成感、満足感いっぱいの大会となりました。

選手の皆さん、お疲れ様でした。また、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。

